

(別紙5)

整理番号 2020P-143
補助事業名 2020年度「児童、高齢者、障がいのある人が相補的に関わることのできる地域共生型社会づくりを促進する活動、調査・研究等」補助事業
補助事業者名 公益社団法人日本フィランソロピー協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

- ・社会課題の実情や解決に向けた取り組みを知り、社会課題やNPOの活動に関心を持ち、参加意欲を高める。
- ・自分にできる関わり方を模索し、日常生活の意識、行動を変える。

(2) 実施内容

1. SDGs時代のソーシャル・リーダーシップ研修「社会課題の真実に飛び込む！」

日時：2021年1月31日（土）から3月13日（土）までの毎週土曜日（全7回）

10:00～12:00

方式：ビデオ会議システム『ZOOM』を使ったオンライン

HP：<https://www.philanthropy.or.jp/jka/20210130/>

「ひきこもり」何が問題なのか？
それは個人によって違う。



- ①ひきこもりは、様々な背景を有し、辿った経過が多様
- ②ある時点での当事者や当事者を取り巻く状況が、当面の課題や活用できる資質や資源を含めて、様々
- ③いろいろな人生の目標がある

(参考：『教育と哲学』no797 P.3 慶応義塾大学出版会)



2. 鎌倉トークセッション

「誰ひとり取り残さない」SDGsを実現するために～障がい者のリアルに飛び込む～

日時：2020年11月21日（土）13:30～16:30

会場：臨済宗円覚寺派 浄智寺 書院

HP：<https://www.philanthropy.or.jp/jka/20201121/>



(別紙5)

2 予想される事業実施効果

- ・一般に認知されていない社会課題や、「知ったつもりになっている」社会課題について、支援現場の実情を知ることによって、当事者の多様な背景や多様な支援方法があることに気づく。
- ・地域に、関心と想像力をもつ普通人（専門家ではないという意味で）が無数に存在することが、課題の深刻化を防ぐことにつながるという意識を持つ。
- ・参加者一人ひとりが、自分が今できるアクション（寄付、ボランティア等）に取り組む。

3 補助事業に係わる成果物

(1) 補助事業により作成したもの

チラシ（オンライン編）

鎌倉トークセッション動画 <https://www.youtube.com/watch?v=YfnkmTqDdxg>

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

実施報告書（自己資金にて作成）

<https://www.philanthropy.or.jp/jka/2020/report.pdf>

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 公益社団法人日本フィランソロピー協会

(コウエキシャダンホウジンニホンフィランソロピーキョウカイ)

住 所： 〒100-0004

東京都千代田区大手町2-2-1新大手町ビル244区

代 表 者： 理事長 高橋 陽子（タカハシ ヨウコ）

担 当 部 署： 事業部（ジギョウブ）

担 当 者 名： 宮本 栄（ミヤモト サカエ）

電 話 番 号： 03-5205-7580

F A X： 03-5205-7585

E - m a i l： miyamoto@philanthropy.or.jp

U R L： <https://www.philanthropy.or.jp/>